

平成28年度 こころの健康プロジェクト 助成団体報告

<p>団体名</p>	<p>フットサル大会IN埼玉 実行委員会 (埼玉CAMPIONE)</p>	<p>埼玉県障害者 バレーボール協会 精神障害者部門</p>	<p>特定非営利活動法人 サマリア</p>	<p>おおきな木</p>
<p>事業名</p>	<p>埼玉県内における精神障 がい者フットサル大会の 開催</p>	<p>精神障害者バレーボール の地域振興事業</p>	<p>べてろざわ当事者研究</p>	<p>自死遺族 分かち合い ・支えあいの会</p>
<p>目的</p>	<p>埼玉県内に広く精神障がい者フットサルを普及し、選手である当事者の地域での活動機会の提供を図る。</p>	<p>精神障害者のリハビリテーションや社会復帰の過程において精神障害者バレーボールに親しみ、よりよく社会参加していく機会を拡大する。また、既存の精神障害者バレーボールチームが、障害者スポーツや生涯スポーツとして地域に根差した活動となるよう支援する。</p>	<p>精神の病気を持つ人や家族が「自分の助け方」を見出す機会を作り、さらに「当事者研究」に関心を持つ市民に自由に参加してもらうことで、病気がある人もない人も楽しく集い「苦勞の棚卸しができる場」として、地域に密着することを目指す。</p>	<p>遺族の方々の苦しみや悲しみを少しでも和らげ、元の生活に近づけられたり仕事の復帰等社会へ一歩踏み出せるお手伝いができれば良いと考える。</p>
<p>実施状況</p>	<p>・フットサル大会（Sリーグ戦）の開催 第1日程 平成28年9月24日（土） 会場：所沢市民体育館サブアリーナ 参加：8チーム 第2日程 平成28年10月15日（土） 会場：春日部市立総合体育館 参加：8チーム 第3日程 平成28年11月20日（日） 会場：春日部市立市民会館 参加：8チーム 第4日程 平成28年12月18日（日） 会場：春日部市立市民会館 参加：8チーム 計8チームが参戦して盛大に盛り上がり、今後の課題に前向きに取り組むための貴重なシーズン戦であったと考ええる。各チームが白熱した試合をする中で、最後まで拮抗した優勝争いを制したのはEVOLVIENTO F.C.でした。</p>	<p>1 普及啓発動画の作成 「みんなが主役！笑顔とソフトバレー」との動画を作成し、ホームページやyoutubeにアップロードし、普及啓発を図った。 2 さいたま市バレーボール交流会の開催 実施日：平成29年1月28日（土） 会場：さいたま市記念総合体育館 内容：ソフトバレー教室及び交流会 参加者：47名 3 埼玉ソーシャルスポーツフェスティバル2017への参加・協力 実施日：平成29年1月28日（土） 会場：春日部市民体育館 内容：ソフトバレーボール、フットサル、バスケットボールの体験会 参加者：93名 4 埼玉県代表選抜強化練習会の実施 全28日開催 延べ589名（実31名） →平成28年10月22日か～24日に開催された第16回全国障害者スポーツ大会精神障害者バレーボールの部にて優勝した。</p>	<p>・べてろざわ当事者研究 実施日：毎月第4金曜日（H28.7.22、H28.12.23を除く全10回） 会場：所沢中央公民館 参加者：毎回10～20名（延べ137名） ・浦河べてろの家の実践を東京都豊島区で展開している「べてろくろ」から講師をお招きし、「当事者研究」をやってもらう事で、県内の支援者や当事者が、ミーティングの進め方などを直接学ぶことができた。</p>	<p>・分かち合いの会の開催 実施日：毎月第3木曜日 14時～16時 ・お手伝いのスタッフが自死遺族当事者でない方なので、年2回行われる自死遺族サポーター研修会には、おおきな木の活動の一つとして参加してもらっている。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>・大会運営に際して、学生ボランティアや地域の関係者のご協力もあり、大きな怪我もなく2016シーズンを終えることができた。 ・今シーズンから、4日程に変更し、初めて所沢での開催を実現させた。試合時間も7分から10分ハーフに延長し、より一般大会に近づけるようにした。 ・埼玉県のほか、所沢市、春日部市や民間団体などに後援をもらい、より多くの関係者からの支援を得ることができた。 ・Sリーグのような大会を各地域で自主的に開催できるように、企画運営に必要な書類の整備等を行った。 ・来シーズンも実施継続をしていく予定としている。</p>	<p>1 普及啓発の動画については、当事者を主人公とし、精神障害者バレーボールに関わるようになった実際のエピソードをもとにした短編のドキュメンタリーとして作成した。この動画は、精神科リハビリテーションに関わるスタッフや当事者に向けて精神障害者バレーボールの普及啓発を目的として作成し、SNS等で身近にアクセスできるよう工夫した。 2 さいたま市バレーボール交流事業は、さいたま市に限らず県南地域を対象に実施し、新たに1施設が参加するなど少しずつではあるが広がりを見せている。 3 埼玉ソーシャルスポーツフェスティバル2017は埼玉カンピオーネが主催で県内の精神障害者フットサル・バレーボール・バスケットボールの体験会を行った。春日部近辺の当事者・関係機関等への精神障害者スポーツの普及啓発を図ることができた。 4 埼玉県代表選抜強化練習会は、県内の優秀な選手がチームや地域の枠を越えて活躍できる場を提供することができた。長期にわたる強化練習ではあったが、多くの選手は就労とスポーツを両立することができた。全国大会では多くの関係者のご支援により優勝することができた。</p>	<p>・継続的に実施できたことで地域に定着し、情報を得て他市から参加する人もいた。 ・有名な「べてろの当事者研究」をべてろから講師が来て実施するという事で、引きこもっていた人が出てきたり、家族と一緒に参加したり、一般的な相談会等とは異なる参加があった。 ・グループホームや地域活動支援センターなど、事業所単位での参加も見られた。 ・サマリアの事業としては終了するが、市民の任意グループ活動として、引き続き、べてろの講師を招きながら継続していく事になった。</p>	<p>現在のところ、自死遺族サイトのネット等には載せていないので、参加者は埼玉県立精神保健福祉センター相談の方と越谷市精神保健支援室の方、遺族の方の口コミとなっていますので、人数は少ないのですが、他の大きな会（分かち合い）で話せなかった方、遺族となってまだ間もない方々には「少人数のところで、ゆっくり話げできた」とか「初めて分かち合いを体験できて良かった」と言った感想をいただきました。 他の会では、遺族同士のトラブルが発生したり分かち合いも少しずつ変化してきているようです。私達の会の様に新しく立ち上げる所も減ってきていたり、閉鎖してしまう会もあるそうです。遺族は増え続けています。小さな会が沢山できて、遺族が安心して話せる場が増えて欲しいと思います。</p>